



# 総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画の総括

市の将来を描き、進むべき方向を示した総合計画「理想郷プラン」。平成16年度から平成27年度を計画期間とし、「基本構想」(12年間)と、これを具体化する「基本計画」を前期6年間、後期6年間で進めてきました。

今号では、平成22～27年度までの後期基本計画の取組や市民意識調査の結果などをお知らせします。詳しくは、ホームページでも公開しています。

総合企画政策室 63-7389

## これまでの主な取組

### ① 互いに認めあい支え合う、健康で安心できる暮らし

- ▼生活習慣病予防重点プロジェクト(ばりばり現役プロジェクト)による、がん検診などの受診率向上や危険度が高い人の生活改善予防を推進
- ▼地域づくり組織との協働による生涯現役・地域の支え合いの推進に向けた「まちじゅう元気!!プロジェクト」を実施
- ▼伊賀地域3病院の連携により二次救急医療を確保
- ▼24時間365日の小児二次救急を行う「小児救急医療センター」を開設
- ▼平成22年度に4か所、平成23年度に4か所の保育所を民営化
- ▼地域型保育事業(家庭的保育、小規模保育、事業所内保育事業)による0～2歳の子どもの受け入れ枠の拡大を実施
- ▼まちの保健室に、妊娠から出産・育児までを継続的にサポートする「チャイルドパートナー」を配置し、地域・関係機関などと連携して支援する名張版ネウボラ事業を開始
- ▼閉校した小学校跡地に企業を誘致し、雇用創出を実現
- ▼名張市雇用創造協議会を設立し、地域資源を活用した新商品開発・販路拡大を促進。地域経済を活性化し、雇用の拡大と創出を実現



市内の各地域が主体となって親子が気軽に訪れる地域の広場を運営



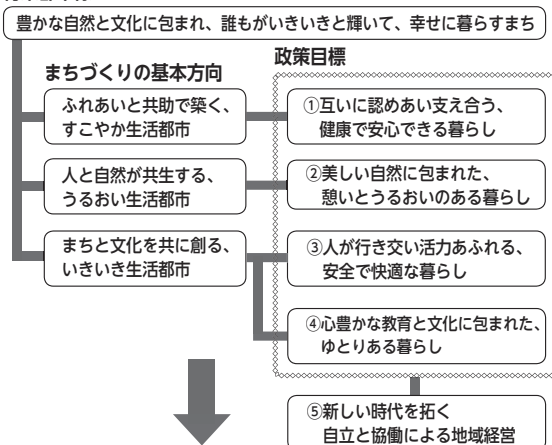
名賀医師会などと連携し、認知症予防の「よくバリ青春体操」を考案



雇用創造協議会は就職面接会やセミナーの開催、商品開発などを実施

## 理想郷プラン施策体系表

将来都市像



## 取組成果 ～福祉の理想郷を目指して～

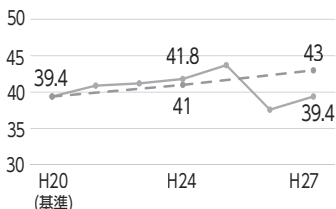
### ■ 市民と行政の協働による新しい公の実現

市民と行政が適切な役割分担のもと協働して地域課題の解決に取り組む「新しい公」の実現を目指しました。こうした取組により、これからの新しい地域社会の大きな支えとなる市民と地域の力を得ることができました。

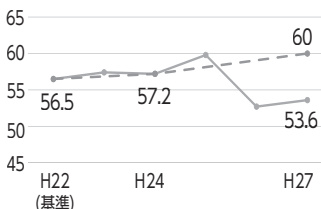
### ■ 行財政改革の取組

平成14年度の「財政非常事態宣言」以降、さまざまな行財政改革に着手しながら名張躍進の土台づくりに取り組んできました。その結果、現状の行政サービス水準を維持するとともに、先進的な施策を展開することができました。

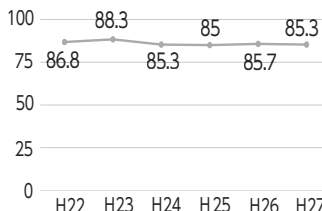
### ■ 公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合



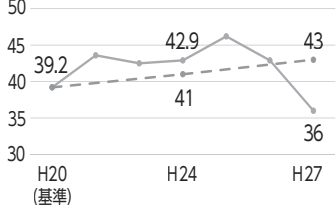
### ■ 市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口などの子育て支援は満足か?



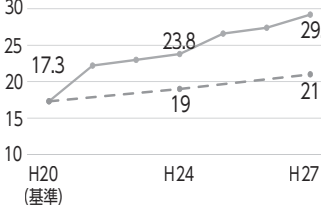
### ■ これからも名張に住み続けたいか?



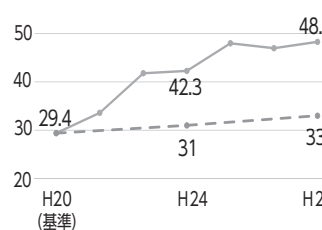
### ■ 効率的な市政運営に向けた取組が行われていると感じるか?



### ■ 働く意欲のある人に働ける場が確保されていると思うか?



### ■ 地域医療体制に満足しているか?



理想郷プランに対して、毎年実施してきた市民意識調査(※)。全68項目の内、主な6つの項目を掲載します。

— 実績値 —  
- - - 目標値

「理想郷プラン」に対する  
市民の皆さんの評価

※市民意識調査は、行政に対し市民の意向や考え方を把握することで、総合計画に掲げる施策を効果的・効率的に進めていくことを目的に毎年実施しています。

調査対象 市内に居住する満20歳以上の男女 調査地区 市内全域 調査数 2,030人 抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出

#### ④ 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし

- ▼「子ども発達支援センター」と、「教育センター」を併設した「名張市子どもセンター」を開設
- ▼全ての小中学校施設の耐震化や学校の規模・配置の適正化、学校支援地域本部事業などを計画的に推進
- ▼公民館や市民センター、図書館などを、幅広い生涯学習活動、身近な情報提供の拠点として、高等教育機関との連携等を図りながら、**学習の機会や環境を充実**
- ▼おきつもウォーキングや体育健康フェスタの開催など、**運動機会増進**の取組を推進
- ▼旧錦生小学校校舎に**名張市郷土資料館**を開設



平成 25 年に子どもの育ちと学びを支援する子どもセンターを開設



平成 27 年に開設した郷土資料館は市内の埋蔵文化財を管理・展示

#### ⑤ 新しい時代を拓く、自立と協働による地域経営

- ▼各地域の「地域ビジョン」実現に向けて地域だけでは解決できない課題について、地域づくり組織と市が協働して取り組む「**ゆめづくり協働事業**」を実施
- ▼公民館を**市民センター**とし、地域づくり活動の充実、発展を目指した支援を実施
- ▼全国のコンビニエンスストアのマルチコピー機で住民票の写し等の**証明書の交付サービス**を開始
- ▼限られた職員数でより効果的な事務執行体制の確立を図るため、組織機構見直し方針に基づき、**部室の統合や管理職級職員を抑制**
- ▼**土地開発公社を解散**
- ▼財政早期健全化計画及び市政一新プログラムに基づく**行財政改革**の取組
- ▼恒常的な財源不足が見込まれる中、現在の行政サービスを維持した上で、名張躍進の土台づくりを進めるための財源として、平成 28 年度から**都市振興税**を導入



住基カードを使用して役所の閉庁時でも各種証明書の取得が可能に



地域づくり、生涯学習、地域福祉の拠点として市民センターがスタート



各地域の取組を紹介する地域づくり代表者会議「実践交流会」を開催

#### ② 美しい自然に包まれた、憩いとuringおいのある暮らし

- ▼市民、事業者、行政の協働による環境美化活動「**クリーン大作戦**」の実施
- ▼学校・市庁舎・消防署への**太陽光発電設備の整備**、市庁舎への**急速充電器設備の整備**、**電気自動車の導入**
- ▼**指定ごみ袋の価格の引き下げ**
- ▼地場産品や障害者の就労訓練施設で生産した製品を販売など、物産や地域福祉に関する各種イベントの場として「**とれたて名張交流館**」を開設
- ▼農産物のブランド化、農産物の生産向上や直売所の活性化、農産物の6次産業化を図り、多彩な担い手が魅力を感じる「**なばり農業**」に向けた取組を実施



クリーン大作戦はこれまで 13 回実施し、約 45,000 人が参加



平成 24 年のオープン以来、今年で来館者 40 万人を達成

#### ③ 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし

- ▼希中央に**温浴施設**を誘致、開設
- ▼全国瞬時警報システムをはじめ、「名張市防災ほっとメール」、「名張市告知放送受信機」など、**災害情報伝達手段を整備**
- ▼**防災マップ**を**全世帯へ配布**
- ▼**名張市防災センター**を新消防庁舎とともに、**市役所横へ整備**
- ▼**公共下水道事業**について、名張地区市街地での面整備および住宅団地の接続移管を推進
- ▼**コミュニティバス「はたっこ号」**の運行開始
- ▼**国道 368 号の整備**について、**国道 165 号までの区間における 4 車線化と長瀬地内の拡幅改良事業**を促進
- ▼平成 23 年 4 月に春日丘に移転・開校した**近畿大学工業高等専門学校**において、**共同研究**を通して**民産学官**などによる連携を実施
- ▼**新たな観光ルート**を整備するなど、**名張市観光戦略**および**東大和西三重地域広域プロジェクト**の推進



避難場所や土砂災害警戒区域をまとめた防災マップを全世帯へ配布



新たな防災拠点として震度 7 にも耐えられる新消防庁舎を建設

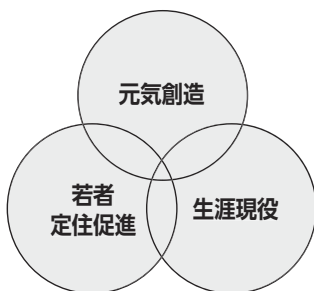


「修験の道」長坂山トレッキングルートを整備

### 新たな総合計画「新・理想郷プラン」が動き出しています

平成 28 年 4 月、名張市ではこれまでの総合計画「理想郷プラン」を基にした、より戦略的で実効性の高いまちづくりの指針として、新たな総合計画「新・理想郷プラン」を策定しました。

このプランでは、「元気創造」「若者定住促進」「生涯現役」の 3 つの重点プロジェクトを柱に、各種施策を進めていきます。



#### 元気創造

人や企業から選ばれる  
活気に満ちたまち

新たな産業や雇用の創出により、地域経済の活性化を目指した取組を推進するとともに、地域の元気を支え、将来を担う人材の育成に取り組めます。

#### 若者定住促進

愛着を抱き、  
いつまでも住み続けたいと感じるまち

若い世代が安心して働き、結婚・妊娠・出産・子育て・教育がしやすい環境の整備に切れ目なく取り組み、住宅支援や雇用の創出などの施策を推進します。

#### 生涯現役

いつまでも健康で生きがいをもって  
地域社会の担い手として  
活躍できるまち

全ての人が社会の中で意欲的に自らの知識や能力を発揮できるよう取り組みます。